

I 市町の研究活動状況 【 碧南市 】

1 活動の概要について

研究組織の名称	碧南市教育研修会学校事務部会
組織の構成員	校長 1 人 教頭 1 人 市内事務職員 1 4 人
開催回数	年 4 回
活動方法（ここ数年の）	第 1 回目の部会で活動内容を決定している。 計画に従い手引き等資料を作成する場合は、部員に担当を割り振り、各自で資料を作成し、全員で確認作業にあたり、完成させている。 講師を招き、研修を行う年もある。「Q & A 新しく職員になられた方へ」（新規採用教職員向け資料）については、年度ごとの担当校が中心となって、改訂作業を継続して行っている。 毎年、A 4 判 2 ページの研究のまとめを作成している。

2 昨年度の活動について

(1) 研究テーマ

事務の合理化・効率化

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①	給食会計手引きの作成
テーマ設定理由	市内の事務職員全員が共同実施計画により、給食会計に携わるため
方 法	毎月の仕事流れを把握し、1 年間の仕事を表にまとめる。 書類作成等を正確に行うために、他の職員との連携のとりかたについて考える。
年間の成果	年間の流れは、過去に作成した「碧南市年間処理日程」に追加する形でまとめ、毎月の流れは、A 4 1 枚に時系列でまとめた。
今後の課題	担当して困った点、不安な点等、今後も集約して改善していく必要がある。

研究グループのテーマ②	事務改善
テーマ設定理由	学校内での物品管理と在庫管理を適切に行うため
方 法	物流センター見学と各校での実践
年間の成果	物品購入の際の視点や、在庫管理の方法を学ぶことができた。
今後の課題	学校での継続的な実践

3 今年度の活動について

(1) 研究テーマ

事務の合理化・効率化

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①	事由発生別提出書類の手引き改訂	
テーマ設定理由	様々な事例について正確な事務処理を行えるようにするため。	
構想図の課題	今日的課題	1 財務運営 ② 情報管理 3 組織運営 4 地域連携 5 教育活動支援
	経常的課題	Ⓐ 正確な事務処理 b 事務改善 c 能力開発 d 職場研修の充実
方 法	「事由発生別提出書類の手引き」の改訂作業を進める。	

研究グループのテーマ②	消耗品展示会の見学	
テーマ設定理由	効果的・効率的な校内財務運営のため	
構想図の課題	今日的課題	① 財務運営 2 情報管理 3 組織運営 4 地域連携 5 教育活動支援

	経常的課題	a 正確な事務処理 ㊦ 事務改善 c 能力開発 d 職場研修の充実
方 法		事務用品メーカーによる消耗品展示会の見学と各校での実践

4 研究組織と市町教育委員会との連携

学校文書分類表の改訂作業を継続活動として事務職員が担当している。
学費口座振替システム導入時、検討会に事務職員全員が参加した。
市教委が例年年度末に行っている新規採用教員説明会において、市教委の要請により事務職員が参加し、給与振込関係、共済組合互助会関係書類などについて説明を行っており、そのための資料「Q&A新しく職員になられた方へ」を作成している。

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

--

6 各市町において、事務職員（全員または一部）が参加した会議及び研修会について

平成28年度		平成29年度	
名 称	事務職員会議（年度当初）	実施の有無	㊦ 無
主 催	碧南市教育委員会		
参加者(対象者)	事務職員13人、市教委職員（庶務課・学校教育課）	実施内容	(予定) 28年度と同じ
実施回数	1回		
実施内容	新任者・転任者・関係者の紹介 市会計処理について担当者から説明、役割分担の決定、当番校、連絡網、事務職員会議の開催についての確認事項等		

平成28年度		平成29年度	
名 称	事務職員会議（定例）	実施の有無	⑦ 無
主 催	碧南市教育委員会		
参加者(対象者)	市内事務職員13人、市教委学校教育課課長補佐	実施内容	(予定) 28年度と同じ
実施回数	年9回		
実施内容	事例研究・情報交換・文書等配布・諸連絡		

平成29年度 新規に実施予定	
名 称	
主 催	
参加者(対象者)	
実施回数	
実施内容	